

プレコンgresワークショップ8	
タイトル	Beyond 質的研究～家庭医の症例検討会における医療人類学者とのコラボ!
日時	6月12日(金) 18:00-20:00
企画責任者	錦織 宏 (公募企画)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>家庭医の診療では生物医学的な問題を内科診断学的な臨床推論で解決していただくだけでなく、心理社会的な問題を解決するアプローチも求められます。ただ前者を扱う際にその基盤となる学問(内科学、さらにその背景となる解剖学・生理学・病理学などの基礎医学、また公衆衛生学・医療疫学など社会医学)が明確に意識されているのに対し、後者を扱う際には、それと家庭医療との関連があまりはっきりと意識されていないのではないのでしょうか。本ワークショップでは後者の(基盤となる学問の)一つとして医療人類学をとりあげ、心理社会的な問題に主に焦点を当てた家庭医療の症例検討会に医療人類学者に加わってもらうことによって、家庭医療カンファをより「知的に面白く」することを試みます。</p>	
<p>【概要】</p> <p>主催者の方で、実際に家庭医が診療した症例をもとにしたプレゼンテーションを準備いたします。参加者は6～10名の小グループに分かれて、上記の症例を検討する家庭医療ケースカンファランスに参加していただきます(是非積極的に討論にもご参加ください)。ケースカンファランスの途中で、家庭医が提示する種々の(特に心理社会的な)「問題」に対し、医療人類学者がその学術的視点をもとに「問いを投げかけ」たり「コメントを述べ」たりしますが、それらが時に我々医療者としての常識を覆すような気づきを与えてくれます(反発したくなることもあるかもしれませんが、そこから実りある議論が始まると期待しましょう)。医療者だけで行うケースカンファランスの視点を越えた、家庭医療×医療人類学、より大きな視点では臨床×社会医学(人文社会科学)のコラボをお楽しみください。また医療人類学はエスノグラフィーという質的研究の方法を用います。研究における医療人類学者と総合診療医/家庭医とのコラボについても、皆さんと一緒に考え、何かしら面白いことにつながれば、と思っています。</p>	